

鈴鹿の山 日帰りハイク

(車利用)

- ⑥ わたむきやま 綿向山△1110mと竜王山△826m.....[LP12](#)
- ⑦ 日本コバ△934m.....[LP14](#)
- ⑧ おいけだけ 御池岳△1247mと鈴北岳△1182m.....[LP16](#)
- ⑨ 藤原岳(天狗岩)△1171m 木和田尾道.....[LP18](#)
- ⑩ 御在所岳△1209m 鈴鹿の上高地.....[LP20](#)

木島 清子 著



はじめに

このガイドは、豊中労山の会員方が『鈴鹿山系』への山行に興味を持たれて、調べたり、計画したりする時の一助になればと「岳友」に掲載しました。

白神山地の山々で、美しいブナやミズナラの森林に出会い……。これらの冷温帯落葉広葉樹は、四季の変化が最も美しく、ひとつひとつの樾や水檜に親しみながら歩けば、今まで以上に森が見えてきます。白神山地の山々を歩いて、山の自然観察とは、草花の名前を憶えるだけでなく、森を知ることであると思つた次第です。

鈴鹿の山々にも豊かで美しい森が多々あり、四季を通じて楽しんでいきます。

平成二十年二月

木島

⑥ 綿向山△1110mと竜王山△826m

標高1110mの綿向山は、地元日野町では標高に因んで11月10日を「綿向山の日」とし、盛大に記念行事を行う。信仰の山、そして町おこしの山である。鈴鹿山系の一峰で最も滋賀県側に突き出た、古くから神を祀り大変に親しまれてきた近江の名山。四季それぞれに美しい景色の移り変わりを見せ、優美な姿は登りやすい山として知られている。

日野町から国道477号線を走ると滋賀農業公園ブルーメの丘の入口付近から東方に綿向山の迫力のある雄姿が近づいてくる。日野町の北畑口バス停から山手に向かい、林間の舗装道路へ入る。道標右折して御幸橋を渡った所に広い駐車場があります。ここから整備された大堰堤の横の階段道を登って北畑林道に出る。川沿いの林道が終わった所が登山口で、新しい小屋の先で鉄橋を渡ると植林下の山腹をジグザグに登る。1合目毎に山頂までの距離表示をした道標がある。3合目で(紅葉の美しい所)林道へ出て少し歩き、5合目の小屋の前(ホンシャクナゲの群生地)、奥の平の道と合流する、伐採して明るい所。山腹道から尾根に出て7合目の行者コバに着く。植林からブナ樹林に変わり金名水の分岐を過ぎて笹の切り開きを抜けると、最後に一直線の階段を急登して綿向山に着く。東に雨乞岳、冬の澄んだ日には遠く北アルプスや南アルプスなども望見でき、西は近江盆地が眼下に開け、琵琶湖の向うに比叡山から比良連峰が連なり雄大な気分を味わえる。

「積雪期専用ルート」行者コバの先から尾根通して山頂に登る。樹氷の美しいコースです。

帰路は北の稜線に出て竜王山へ、尾根を降り鞍部から登った所で道標分岐に出て左折すると山腹の急降下になる。シャクナゲが群生する細尾根になって再び急降下するが、要所には固定ロープがある。二つの鉄塔下を過ぎ竜王山に着く。東方に階段を付けた巡視路へ左折するとジグザグを切った踏み跡が続き、竜王山登山道の道標が立った林道に出て右折して25分程で駐車場に戻る。

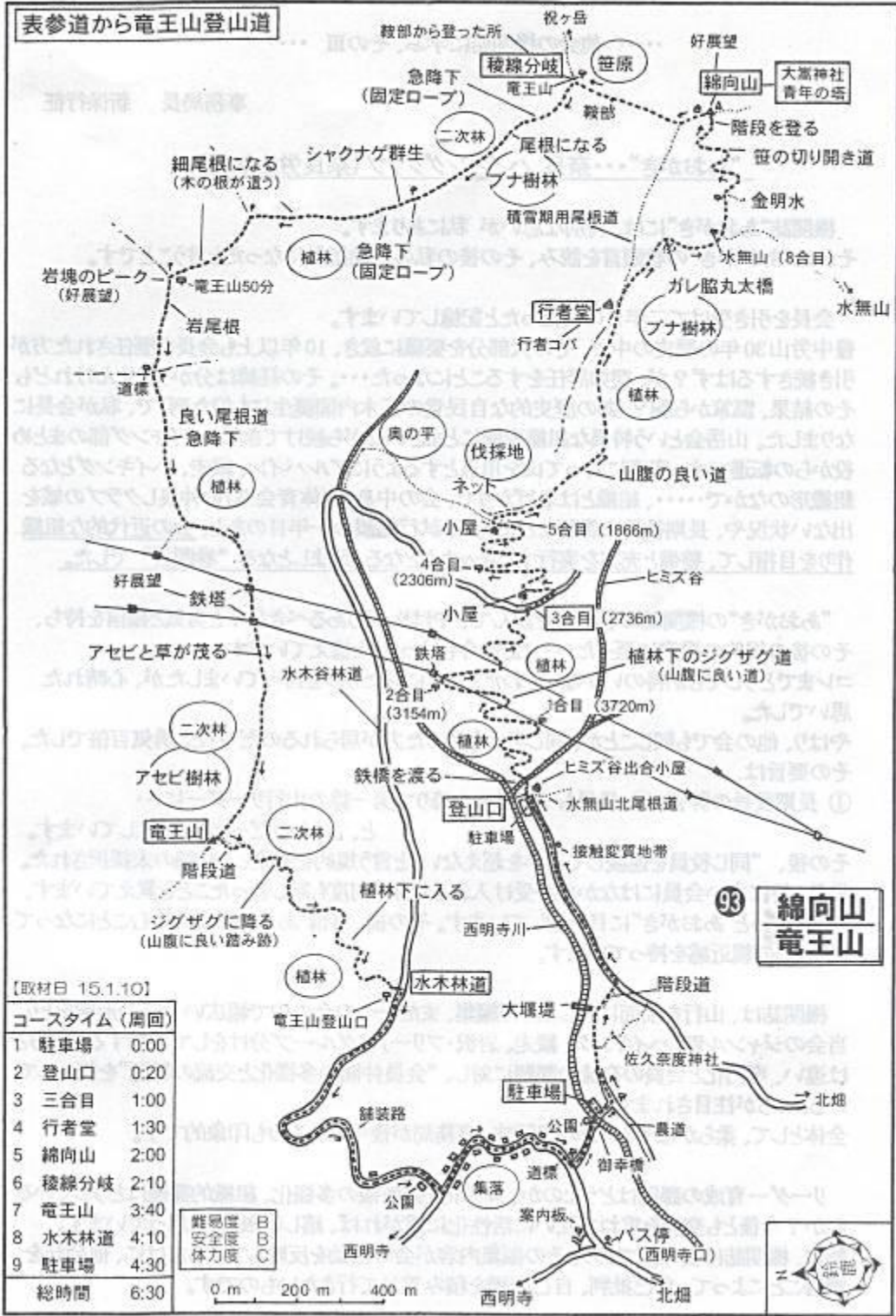
コースタイム：表参道～綿向山～竜王山 6時間 30分
(表参道～綿向山 4時間)

アクセス：名神 八日市IC 車で30分
名神 竜王IC 車で50分



綿向山(2007年11月)

表参道から竜王山登山道



【取材日 15.1.10】

コースタイム (周回)	
1 駐車場	0:00
2 登山口	0:20
3 三合目	1:00
4 行者堂	1:30
5 綿向山	2:00
6 稜線分岐	2:10
7 竜王山	3:40
8 水木林道	4:10
9 駐車場	4:30
総時間	6:30

難易度 B
安全度 B
体力度 C

93 綿向山
竜王山

⑦ 日本コバ△934m

コバとは憩の場、または木場とか焼畑を意味するものと言われている。日本コバは円く小高い丘のような山で、頂上は樹木が成長し展望は西方だけで、竜王山、綿向山、雨乞岳の山が見える。八日市と県境の石樽峠(いしくれとうげ)を結ぶ国道(八風街道)の中程に永源寺ダム湖がある。北方を眺めると台形の大きな山が横たわっていて、その姿を湖面に映し出しているのが日本コバである。

一般的な登山道は、藤川谷沿いと政所の川西集落ルートです。踏み跡があり、道標やテープ目印も多く分かり易い。永源寺ダムから国道を東へ、政所中畑の集落の政所郵便局の横の空き地に駐車、または藤川谷の端を過ぎた所の空き地に駐車。

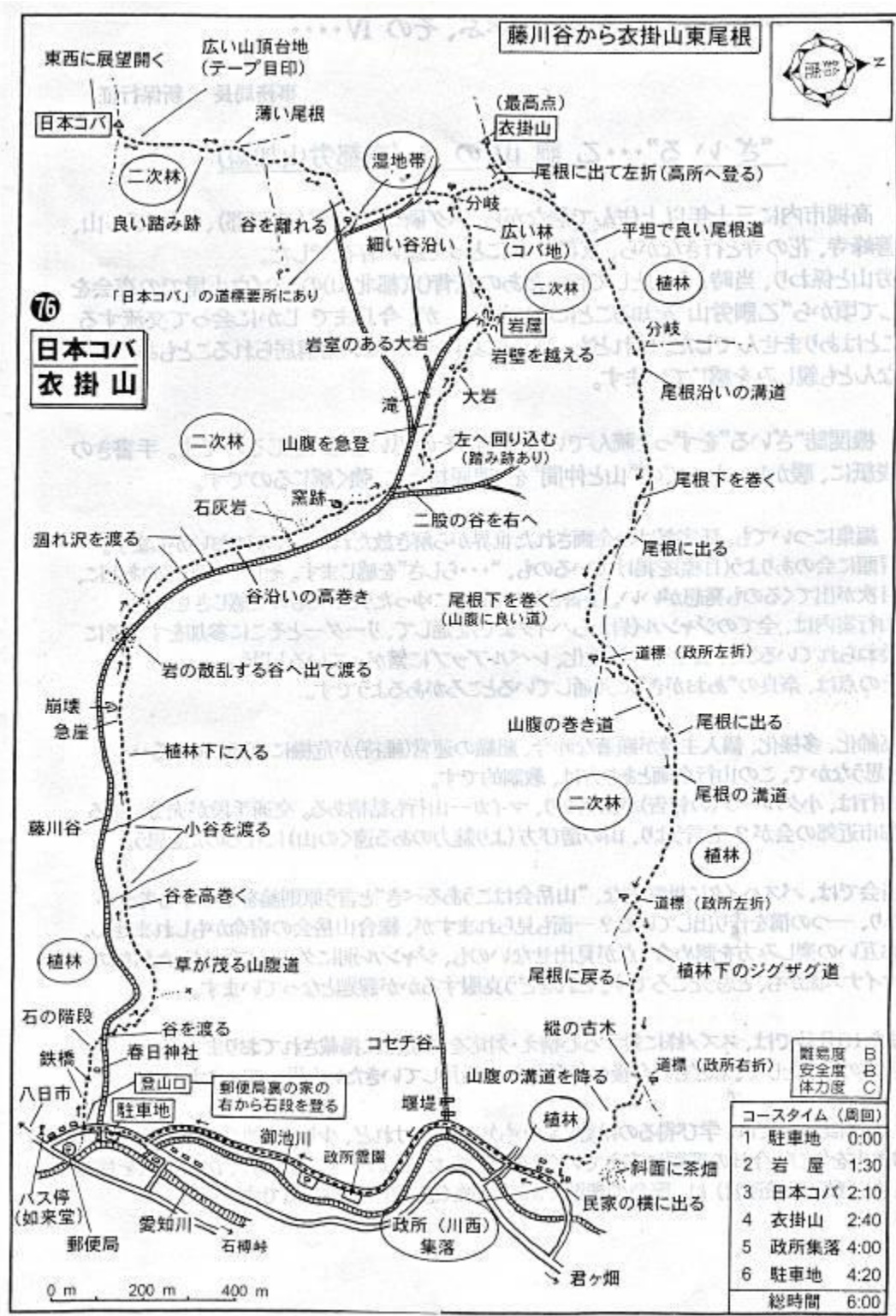
郵便局の裏側の横の石段を登る。植林の山道、右手の小さな神社を過ぎると谷へ出て渡渉して左岸へ、植林下に入って抜けると再び岩の散乱する谷へ出る。渡渉して右岸へ出ると急登になり巨岩、30m以上の大岩を越えて 20 分ほど急な岩登りが続く。岩や古代人風穴があり、約10分位歩くと日本コバへの左折の分岐があります。踏み後のテープ目印や道標を頼りに歩き、分岐から少し降りた所で湿地帯に入らぬように(このあたりから頂上までの雑木林は紅葉の美しい所です。11月3日頃が見頃)。谷と離れて雑木林を抜けると日本コバの頂上に着く。

下山は山頂から来た道に戻り、分岐から政所への表示方向へ北東の尾根へ直進すると良い踏み跡があり、小ピークを越えた尾根の分岐で東向き尾根になる。政所への道標が立っていて分かり易く、雑木林に入って尾根に戻り、下方に民家が見えてきて川西の集落に出る。家の横から車道に出て右折して駐車地へ戻る。

コースタイム : 6時間

アクセス : 八日市 IC～政所(如来堂)バス停 40分





76
日本コバ
衣掛山

藤川谷から衣掛山東尾根



難易度	B
安全度	B
体力度	C
コースタイム (周回)	
1 駐車地	0:00
2 岩屋	1:30
3 日本コバ	2:10
4 衣掛山	2:40
5 政所集落	4:00
6 駐車地	4:20
総時間	6:00

⑧ 御池岳△1247mと鈴北岳△1182m

鈴鹿にはまだ自然があり、四季の変化を、それぞれに心行くまで満たしてくれる。命への息吹を肌を感じる。春は根雪に所々穴があくとセツブンソウ、福寿草の花々が光を放って顔を出す。4月上旬～6月上旬頃へかけて花を咲かせ、木々の芽吹きが始まる。4月上旬頃はまだ残雪があり、御池岳～鈴北岳の往復コースがお勧めです。5月頃はカタクリの咲くコグルミ谷～御池岳～鈴北岳の周回コースをお勧めです。

緩やかな起伏の長い台地を横たえた山で、周囲には随所に雄大な展望が開けている。御池岳は、大きな魅力を持つ山の一つです。

展望巡りは、地図でトレースを記しても道の無い所を歩くので現在地の判別できる事と地形図と磁石が必要であります。

鈴北岳～御池岳のコースを紹介します。

鞍掛トンネル東の駐車場から歩き始める。鈴北岳まではよく踏まれた一般登山道、歩き始め25分位まで滑りやすい道です。鞍掛峠へ出て石地蔵の前を通り左折すると二次林下の良い尾根になり、樹木が絶えて笹道になると残雪の急登になりタテ谷分岐を過ぎると直ぐに笹原を切り開いた好展望の鈴北岳に着く。鈴ヶ岳の方向右へ15分歩いた所で福寿草の群生地に着く、鈴北岳に戻り元池から日本庭園へ、丸池から尾根を越えて御池岳(丸山)に着く。下りは一般登山道から日本庭園～鈴北岳～タテ谷分岐～鞍掛峠～滑りやすい小道を下り駐車場に着く。

[2005年4月9日 A班バスハイクで歩く]

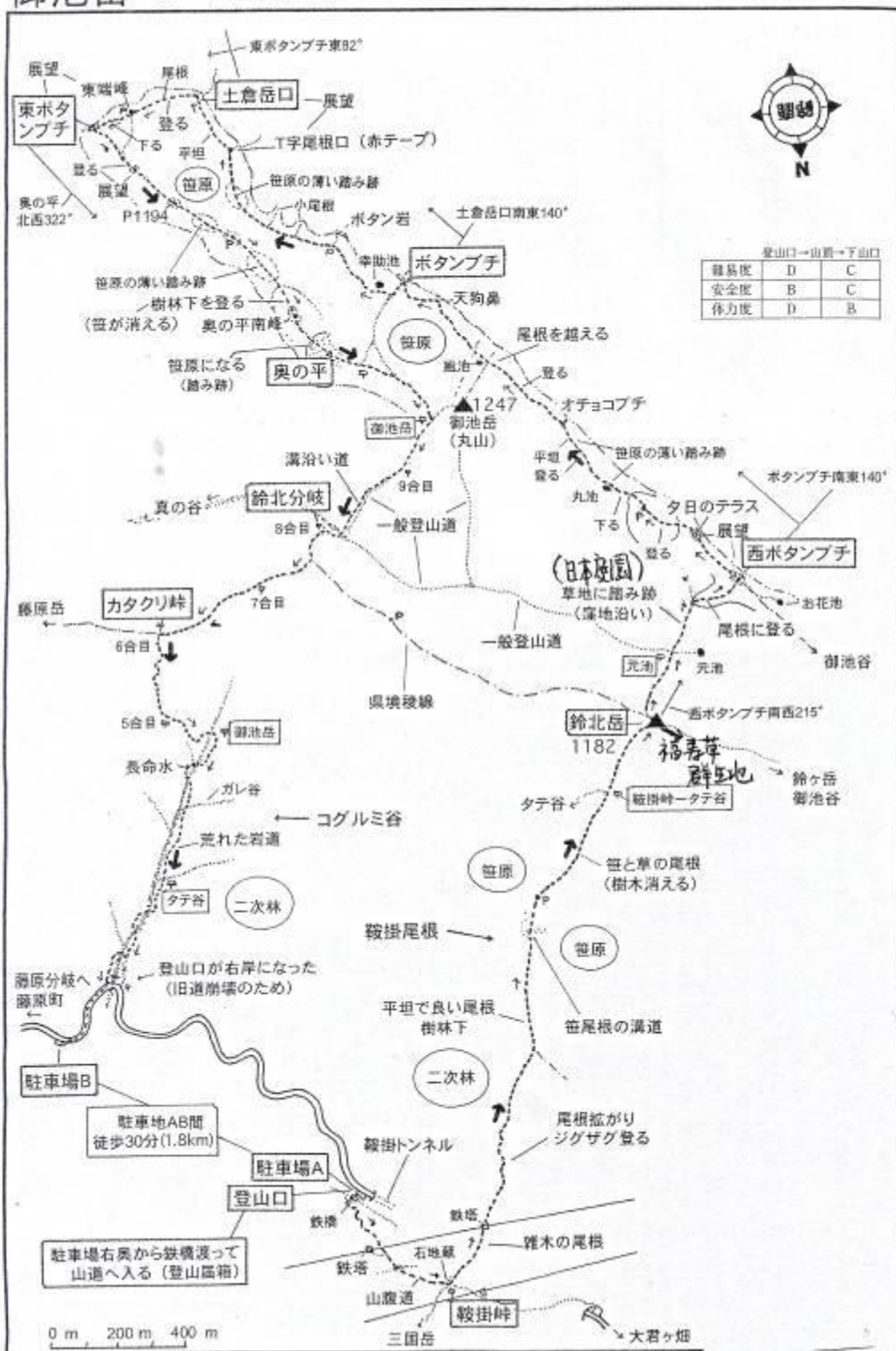
快晴の中、鈴北岳～御池岳往復コースを歩く。無数の福寿草の花々の群生、目の前に霊仙山、金糞岳、藤原岳、恵那山、御嶽山、乗鞍岳さらに遠望になんと槍ヶ岳まで頭を出していたので感動しました。地元の岳人も「こんな素晴らしい眺望が楽しめる日は、一年に何度も無い」と言われた。鈴北岳はA班山行の思い出多い山の一つです。

コースタイム：5時間

アクセス：彦根IC～鞍掛トンネル東登山口



御池岳 (奥の平) | 鈴北岳 | 鞍掛尾根からコグルミ谷 (山頂台地の周遊)



⑨ 藤原岳(天狗岩)△1171m 木和田尾道

藤原岳は天狗岩、北西峰と言った峰を連ねている。北の白船峠から南の治田峠に及ぶ広大な山域を持った藤原岳を日帰りで歩くのは容易ではない。福寿草の咲く時季(3月10日頃)は、北の木和田尾から天狗岩へ、紅葉時(11月18日頃)は、南の茨川から治田峠の周回を歩くのがお勧めです。

坂本谷が土石流で登山禁止になっているので、代わって北の木和田尾が整理された巡視路があり歩きやすい。国道沿いの駐車場「藤原簡易パーキング」から歩き始める。自然公園に出て遊歩道を歩き一度車道に出て東海自然歩道に入ると集落道から林道になり、聖宝寺の裏道から一合目で山道になります。

藤原山荘までは、雪解け時はぬかるみ道になり藤原山荘から笹を分けて北へ直進すると福寿草の群生地「天狗岩」に着く、下りは分岐へ戻って左折して樹林が続くテープ目印を辿って鞍部から高所へ登ると笹の中に三角点のある「北西峰」に着く。すぐ先の鉄塔下から御池方向の展望が良い。二つ目の鉄塔を過ぎ、白船峠と合流する分岐に出る。ここまでの巡視路は、白船峠道より安全で近道です。木和田尾の巡視路に入ると、立木にペンキ目印があります。

尾根が消えて谷側が植林の山腹道になる。谷へ下り、谷沿いから白瀬峠の道標が立つ冷川林道に出る。水道施設の前を通り「藤原簡易パーキング」に着く。

聖宝寺からの登山道は、ぬかるみ道で人が多いので・・・、人の少ない福寿草群生地の中を歩く木和田尾の往復コースがお勧めです。駐車場内では、水道施設の前に駐車すると良い。

コースタイム： 聖宝寺～天狗岩 7時間30分

木和田尾～往復 7時間

アクセス： 関ヶ原 IC～上石津315号線～登山口

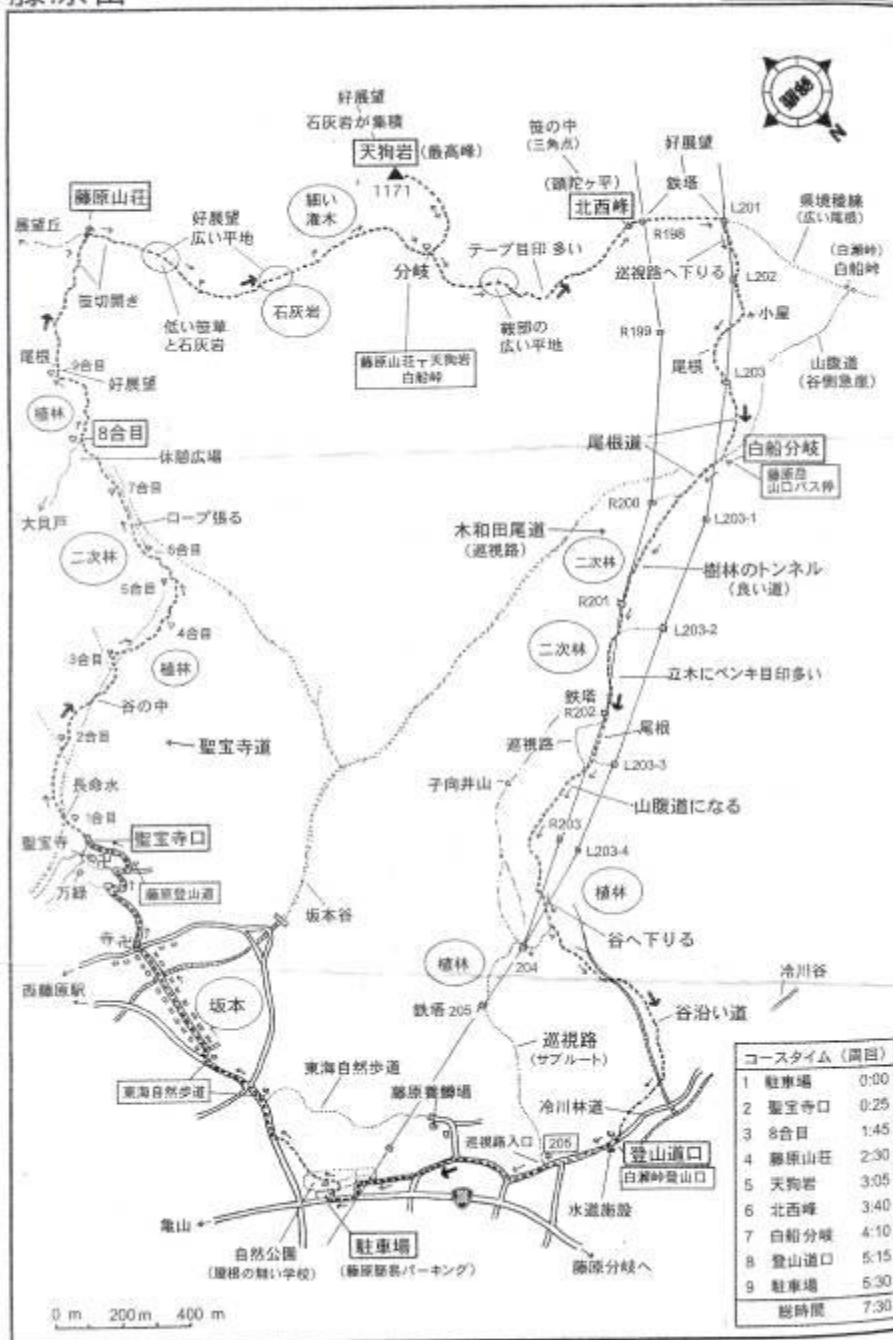
「藤原簡易パーキング(無料、WCあり)」



藤原岳の福寿草(2007年3月)

藤原岳 | 聖宝寺道から木和田尾

難易度	B	D
安全度	B	B
体力度	B	C



⑩ 御在所岳△1209m 鈴鹿の上高地

御在所岳は、いずれも湯ノ山ルートから登るのが一般ルートで、ロープウェイもあり短時間で歩けます。今回紹介するのは、北側から登って地獄谷から三角点脇の望湖台へ登り、帰路は裏道国見峠へ出て上水晶谷を降る周回コースです。御在所岳の北側へは、朝明溪谷から根の平峠へ出て一度愛知川方向へ降ってから登り返すので長丁場になり、時間計画を慎重に行う様に、また時間に余裕がある時は愛知川まで足を延ばし、右岸の二次林を歩くのも良い。周辺一帯を「鈴鹿の上高地」と呼んで、愛知川沿いの自然の変化を四季折々に訪ねる人も多いようである。

朝明溪谷の駐車場から伊勢谷小屋を過ぎた先で分岐を左折し、渡渉して林道に入る。幾度か渡渉して山道へ入り、涸れ沢道を急登して根の平峠に着く。峠から笹の切り開きを愛知川方向に降り、分岐黄色の道標を左折して溝道を辿って広い谷へ出て、左折して上水晶谷右岸の谷沿い道になる。少し高巻きの後、谷へ近づき道標のある分岐に出て渡渉して地獄谷へ入る。左の谷へ入って谷中の岩を踏み、笹藪に入って溝地の台地状に出る。左の谷へ山腹を急登して、大岩の左から上に出た所が望湖台である。御在所三角点を回って、裏道登山道から降りて国見峠に着き、広い空き地から笹を分けて上水晶谷へ入る。右岸に移ると谷沿いに踏み後が続いている。徐々に岩を増し湯ノ山側の登山道と一味違った雰囲気のある、涼しげな木陰と瀬音を聞き地獄谷の分岐に出る。往路で歩いたルートをとって根の平峠から駐車場に戻る。

「鈴鹿の上高地」と呼ばれる右岸の二次林下から、タケ谷出合に出て根の平に戻るコースがお勧めです。道が無いので多少山慣れた人向きである。左の愛知川と右の傾斜になる間は快適に歩けます。

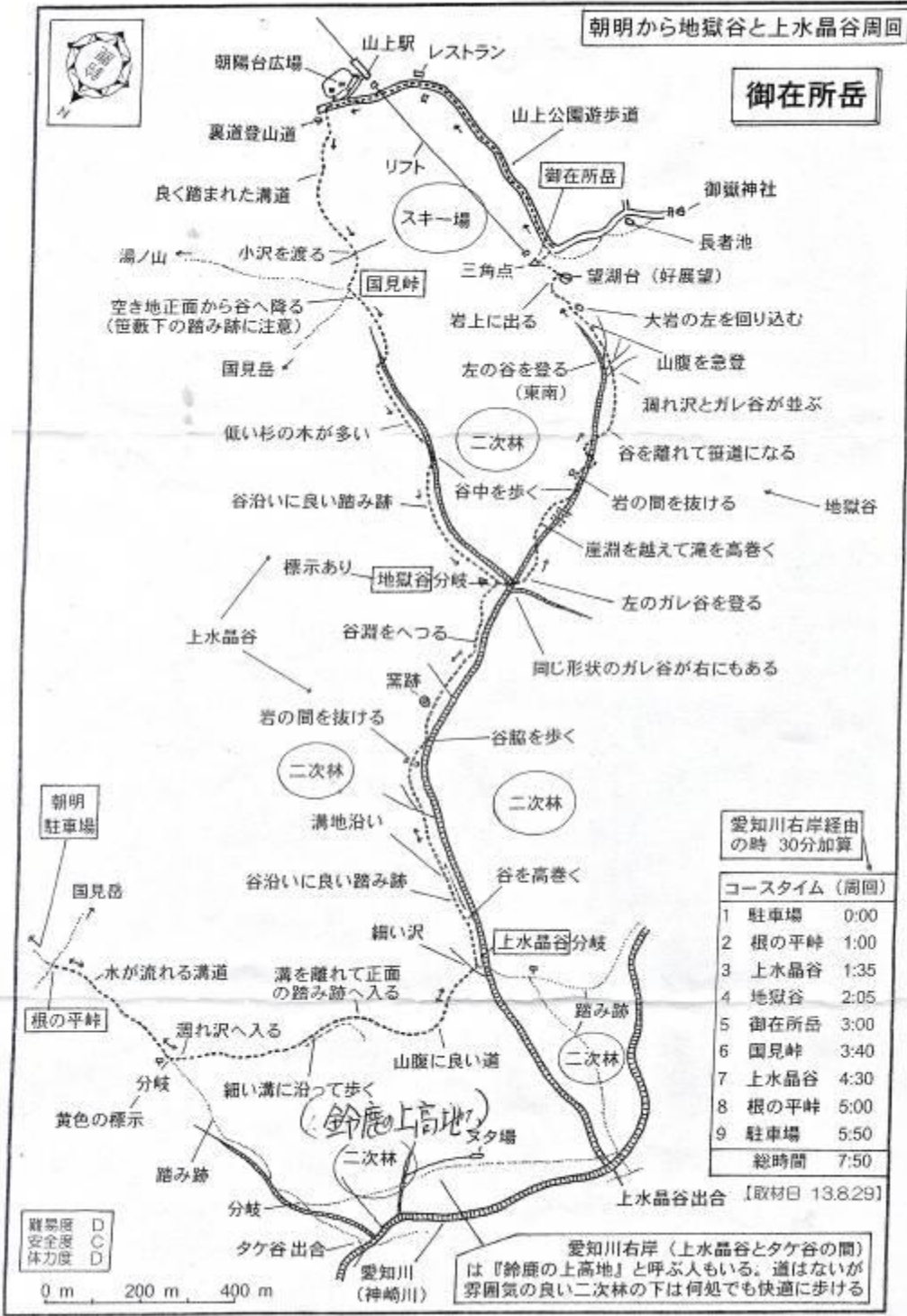
コースタイム： 御在所岳～国見峠 7時間50分

鈴鹿の上高地 4時間

アクセス： 東名阪道 四日市 IC～朝明溪谷



上水晶谷(2007年5月)



～後編 おわり～



制作： *A. Kubota* 2009. 3. 27